

東京大学との共同研究で自動運転技術の導入を見据えた 地域拠点の設計を進めます

中津川市は、東京大学 交通・都市・国土学研究室との共同研究を昨年度スタートしました。今年度も、自動運転ネットワークが実現した将来の付知町地区を見据えて、幹線道路から人の流れに大きな変化が予想される旧街道沿いの古民家を改修した地域拠点の整備や、地域資源等の調査を行い、利便性の高い自動運転ルートの検討を進めます。

■内容

- ・令和3年5月末から半年間ほど、東京大学大学院の学生1人が、現地調査のために付知町地区に滞在します。
 - ・付知北小学校・南小学校の高学年を対象に、生徒と学生で地域資源を生かした学習プログラムを予定。
- ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、本研究の実施にあたっては、滞在前にPCR検査を受診して陰性証明を受けるとともに、滞在時の感染対策を徹底します。

■場所

付知町地区（地域拠点候補地）

■令和3年度事業概要

1. 付知町地区内の要所にて地域拠点の設計

将来的に自動運転ルートの立ち寄りスポットとなることを想定し、地区内の古民家等を改修した地域拠点の設計を進めます。

2. 地域拠点のプレオープンとワークショップの企画

地域拠点を設計段階から開放し、設計の様子や漸次的な施工の様子、模型等の展示物作成の様子を公開します。また地域拠点を会場に、定期的に地域の皆様からご意見をいただくワークショップを企画します。

3. 自動運転ルートの検討と予約システムの構築に向けた社会実験

自動運転技術が実用化される近い将来を見据えて、居住者と訪問者双方の目的に適したルートと予約システムを提案し、乗り合いが可能な既存車両を走行させる社会実験を秋頃に予定します。

4. 調査研究

地域拠点の設計や社会実験の情報発信として、付知の地域資源や交通ネットワークに関する調査を進めます。これらの成果を地域拠点の設計や展示物、社会実験に反映させるとともに、論文化を目指します。

■参考

- ・東京大学 交通・都市・国土学研究室は、都市生活学とネットワーク行動学に関する理論研究を中心に都市サービスの実装と国土・地域計画や都市空間計画と都市設計、モビリティデザインの実践に取り組んでいます。
- ・期間 令和2年度～令和4年度 ※今年度は2年目にあたります。

お問い合わせ先

中津川市次世代交通研究室 担当者：北原

電話：0573-66-1111（内線334）